

### 放送朝会の話

皆さん、おはようございます。

10月1日の中秋の名月とてもきれいでしたね。彼岸花や金木製も季節を感じますね。

さて、最近のきらりを紹介します。

一つ目、ユニセフ募金への協力です。代表委員会の皆さんがユニセフ募金の始まりや皆さんが寄付したお金がどのように使われるか等、ズーム集会で分かりやすく説明してくれました。そして、ユニセフ募金の意義を理解して、28日から30日にかけてたくさんの人が募金に協力してくれました。お小遣いの中から募金をして人の役に立つことをしましたね。

二つ目、図書委員会のみなさんの頑張りです。木曜日の朝、図書委員会の皆さんがおすすめの本の紹介や読み聞かせの映像を各教室で見ましたね。図書委員会のみなさんが、協力して準備したことがよく分かりました。素敵な読み聞かせをありがとうございました。

図書委員会の皆さんの読み聞かせをはじめとして、先週から読書旬間の様々な取組が行われています。今週は、読書にちなんだ話をします。

読書がもたらすメリットはたくさんあります。その中の5つに絞って話します。

#### 1 ストレスが解消される

読書のリラックス効果は、科学的に認められています。音楽鑑賞や他のあらゆるストレス解消法を上回る数値だそうです。コロナ渦のストレス発散に役立ちます。

#### 2 想像力が磨かれる

文字情報をもとに想像を膨らませたり考えを構築したりすることは、想像力を鍛えることにつながります。

想像力がないと、与えられた情報や指示以上のことを自分で生み出せない「マニュアル人間」になってしまいます。

#### 3 脳が活性化する

後頭葉、前頭葉など、脳の様々な部位が活発に動くそうです。音読も脳を活性化して学習効果を2～3割向上させることが期待できるのだそうです。

#### 4 視野が広がる

作者がどのように考えたのか、どう感じたのかと作者の思考をたどることで自分以外の視点で物事を考えるようになります。

#### 5 読解力が高まる

人工知能（AI）が飛躍的に進化を遂げています。例えば、自動車の自動運転が本格的になってくると、ドライバーではなく、AIが行うようになっていく可能性があります。

今のところ人工知能には読解力の習得は困難な能力のため、読解力の高い人はAIに仕事を奪われないうらと考えられます。

今週も読書郵便や、読書の記録、読み聞かせ等、読書旬間の取組がたくさんあります。コロナに気を付けながら本に親しみましょう。今週も1週間、頑張りましょう。